



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふさとエッセイ

— あいなん音故地新 —

脱・先回り

先回りをする癖がある。それは私の良いところでもあり、悪いところでもある。困る前に助ける、うまく進むように準備する、頼まれる前に動く。一見、優しさのように映るけど、私はそれをやりすぎる。やりすぎて、自分以外の荷物まで背負ってしまう。「手を差し伸べること」と「その人の荷物まで背負うこと」は違うのに。

そしてね、先回りすると「ありがとう」がもらえん。相手からすると「問題が起きなかった」だけやし、最初から「何事もなかった」ことになる。だから、私のやったことには気づいてもらえん。感謝されたくてやっとなるわけじゃないんやけど、それがなさすぎて心が沈む。勝手にやったのは自分なのに、ひとりで勝手に寂しくなる。

やから、今は「待つ」練習中。起きててもいらないことを心配するのも、誰かが困る前に全部やってしまうのも、少し休もうと決めた。困ったら、そのとき考えよう。

頼まれたら、そのとき手を差し伸べよう。勝手に先回りして、勝手に背負って、勝手に疲れるのは、もうおしまいや。脱!先回り!!

(テノヒラkiku)



御荘文化センター図書室より

“10月の新着図書ピックアップ”の紹介

【小説】

『永遠の記憶』
東野圭吾（著）
文藝春秋（発行）

ガリレオと称される天才物理学者湯川学が常識を超えた謎に挑むミステリー、ガリレオシリーズの最新長編。今年は湯川学が登場してちょうど30年。捜査一課刑事内海薫がスーパーで刺される。犯人の老人は飛び降り自殺をはかるが失敗し、取調べに対しては黙秘を貫く。やがて捜査線上に内海に恨みを持つ若い女性が浮かび上がる。内海への本当の復讐はこれからだった。



【絵本】

『こんちゅうサッカー』
じゅえき太郎（作・絵）
Gakken（発行）

ユニフォームに身を包んだ昆虫たち。カブトムシ率いるブルービートルズと、クワガタムシ率いるレッドバグズが大激突。カブトムシのパワフルな突進、バッタの脚力を活かしたジャンプなど、縦横無尽で予測不能なプレーが楽しめます。思わず「ずるっ!」と声が出てしまう技もあるけれど、ラストは爽やかなファインプレー。昆虫たちの生態や特長も知ることができます。



御荘文化センター図書室では、毎月「御荘文化センター図書室だより」を発行しています。図書室だよりを通じてピックアップ図書以外の新着図書情報やそのほか新しい情報を皆さまに発信しています。町のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



愛南町
ホーム
ページ